

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2003-151236(P2003-151236A)

【公開日】平成15年5月23日(2003.5.23)

【出願番号】特願2002-249435(P2002-249435)

【国際特許分類】

|               |               |                  |
|---------------|---------------|------------------|
| <b>G 11 B</b> | <b>23/03</b>  | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>17/043</b> | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>33/12</b>  | <b>(2006.01)</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>33/14</b>  | <b>(2006.01)</b> |

【F I】

|               |              |                |
|---------------|--------------|----------------|
| <b>G 11 B</b> | <b>23/03</b> | <b>6 0 3 E</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>17/04</b> | <b>4 1 3 F</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>33/12</b> | <b>3 1 3 N</b> |
| <b>G 11 B</b> | <b>33/14</b> | <b>Z</b>       |

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月16日(2007.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 上シェル及び下シェルを重ね合わせることによって内部にディスク収納室が形成されるカートリッジ筐体と、

上記ディスク収納室の一部を露出させるため上記カートリッジ筐体に設けた開口部を開閉するシャッタ部材と、を備えたディスクカートリッジにおいて、

上記開口部を有する上記上シェル又は上記下シェルと上記シャッタ部材とが重なり合う部分に、一方の部材に凸条又は凹溝を形成すると共に当該凸条又は凹溝に対応される凹溝又は凸条を他方の部材に形成することにより当該凸条と凹溝とで構成される防塵用隙間を設けた

ことを特徴とするディスクカートリッジ。

【請求項2】 上記開口部を有する上記上シェル又は上記下シェルには、当該開口部の周縁を囲うように上記凸条又は上記凹溝を形成すると共に、上記シャッタ部材には上記凸条又は上記凹溝に対応される凹溝又は凸条を形成し、上記開口部の周縁を上記防塵用隙間で囲うようにした

ことを特徴とする請求項1記載のディスクカートリッジ。

【請求項3】 上記開口部は、上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方の中央部から外周縁まで延在され、上記中央部には上記ディスク収納室内に回転自在に収納されるディスク状記録媒体のセンタ穴が露出される

ことを特徴とする請求項1記載のディスクカートリッジ。

【請求項4】 上記開口部の外周縁は、当該開口部が設けられた上記上シェル及び/又は上記下シェルの側面部まで延在され、上記開口部の外周縁が上シェル及び/又は下シェルの側面に開口される

ことを特徴とする請求項1記載のディスクカートリッジ。

【請求項5】 上記シャッタ部材は、上記カートリッジ筐体に回動自在又は摺動自在に支持した

ことを特徴とする請求項 1 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 6】 上シェル、回転部材及び下シェルを重ね合わせることによって上シェル及び回転部材内又は回転部材及び下シェル内にディスク収納室が形成されると共に上記回転部材が上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方によって回転自在に支持されたカートリッジ筐体と、

上記ディスク収納室の一部を露出させるため上記カートリッジ筐体に設けた開口部を開閉するシャッタ部材と、を備えたディスクカートリッジにおいて、

上記開口部を有する上記上シェル、上記回転部材又は上記下シェルと上記シャッタ部材とが重なり合う部分に、一方の部材に凸条又は凹溝を形成すると共に当該凸条又は凹溝に対応される凹溝又は凸条を他方の部材に形成することにより当該凸条と凹溝とで構成される防塵用隙間を設けた

ことを特徴とするディスクカートリッジ。

【請求項 7】 上記シャッタ部材は、略半円形とされた 2 枚のシャッタ部材からなり、

上記 2 枚のシャッタ部材が上記開口部を有する上記回転部材の一面側に当該開口部を挟んで対向するように配置され、それぞれのシャッタ部材において弦側の一側部で回転部材に回転自在に支持されると共に当該シャッタ部材に設けたガイド溝に上記下シェル又は上記上シェルに設けたガイドピンを摺動可能に係合して一対のシャッタ部材を開閉自在に構成した

ことを特徴とする請求項 6 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 8】 上記開口部を有する上記上シェル、上記回転部材又は上記下シェルには、当該開口部の周縁を囲うように上記凸条又は上記凹溝を形成すると共に、上記一対のシャッタ部材には上記凸条又は上記凹溝に対応される凹溝又は凸条を形成し、上記開口部の周縁を上記防塵用隙間で囲うようにした

ことを特徴とする請求項 6 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 9】 上記開口部は、上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方の中央部から外周縁まで延在され、上記中央部には上記ディスク収納室内に回転自在に収納されるディスク状記録媒体のセンタ穴が露出される

ことを特徴とする請求項 6 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 10】 上記開口部の外周縁は、当該開口部が設けられた上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面部まで延在され、上記開口部の外周縁が上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面に開口される

ことを特徴とする請求項 6 記載のディスクカートリッジ。

【請求項 11】 上シェル及び下シェルを重ね合わせることによって内部にディスク収納室が形成されるカートリッジ筐体と、

上記ディスク収納室内に回転自在に収納されると共に上記上シェル又は上記下シェルに設けた開口部から一部が露出されるディスク状記録媒体と、

上記開口部を開閉するシャッタ部材と、を備えたディスク記録媒体装置において、

上記開口部を有する上記上シェル又は上記下シェルと上記シャッタ部材とが重なり合う部分に、一方の部材に凸条又は凹溝を形成すると共に当該凸条又は凹溝に対応される凹溝又は凸条を他方の部材に形成することにより当該凸条と凹溝とで構成される防塵用隙間を設けた

ことを特徴とするディスク記録媒体装置。

【請求項 12】 上記開口部を有する上記上シェル又は上記下シェルには、当該開口部の周縁を囲うように上記凸条又は上記凹溝を形成すると共に、上記シャッタ部材には上記凸条又は上記凹溝に対応される凹溝又は凸条を形成し、上記開口部の周縁を上記防塵用隙間で囲うようにした

ことを特徴とする請求項 11 記載のディスク記録媒体装置。

【請求項 13】 上記開口部は、上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方の中央部から外周縁まで延在され、上記中央部には上記ディスク収納室内に回転自在に収納されるディスク状記録媒体のセンタ穴が露出される

ことを特徴とする請求項11記載のディスク記録媒体装置。

【請求項14】 上記開口部の外周縁は、当該開口部が設けられた上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面部まで延在され、上記開口部の外周縁が上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面に開口される

ことを特徴とする請求項11記載のディスク記録媒体装置。

【請求項15】 上記シャッタ部材は、上記カートリッジ筐体に回動自在又は摺動自在に支持した

ことを特徴とする請求項11記載のディスク記録媒体装置。

【請求項16】 上シェル、回転部材及び下シェルを重ね合わせることによって上シェル及び回転部材内又は回転部材及び下シェル内にディスク収納室が形成されると共に上記回転部材が上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方によって回転自在に支持されたカートリッジ筐体と、

上記ディスク収納室内に回転自在に収納されると共に上記回転部材及び上記上シェル又は上記下シェルに設けた開口部から一部が露出されるディスク状記録媒体と、

上記開口部を開閉するシャッタ部材と、を備えたディスク記録媒体装置において、

上記開口部を有する上記上シェル、上記回転部材又は上記下シェルと上記シャッタ部材とが重なり合う部分に、一方の部材に凸条又は凹溝を形成すると共に当該凸条又は凹溝に対応される凹溝又は凸条を他方の部材に形成することにより当該凸条と凹溝とで構成される防塵用隙間を設けた

ことを特徴とするディスク記録媒体装置。

【請求項17】 上記シャッタ部材は、略半円形とされた2枚のシャッタ部材からなり、

上記2枚のシャッタ部材が上記開口部を有する上記回転部材の一面側に当該開口部を挟んで対向するように配置され、それぞれのシャッタ部材において弦側の一側部で回転部材に回転自在に支持されると共に当該シャッタ部材に設けたガイド溝に上記下シェル又は上記上シェルに設けたガイドピンを摺動可能に係合して一対のシャッタ部材を開閉自在に構成した

ことを特徴とする請求項16記載のディスク記録媒体装置。

【請求項18】 上記開口部を有する上記上シェル、上記回転部材又は上記下シェルには、当該開口部の周縁を囲うように上記凸条又は上記凹溝を形成すると共に、上記一対のシャッタ部材には上記凸条又は上記凹溝に対応される凹溝又は凸条を形成し、上記開口部の周縁を上記防塵用隙間で囲うようにした

ことを特徴とする請求項16記載のディスク記録媒体装置。

【請求項19】 上記開口部は、上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方の中央部から外周縁まで延在され、上記中央部には上記ディスク収納室内に回転自在に収納されるディスク状記録媒体のセンタ穴が露出される

ことを特徴とする請求項16記載のディスク記録媒体装置。

【請求項20】 上記開口部の外周縁は、当該開口部が設けられた上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面部まで延在され、上記開口部の外周縁が上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面に開口される

ことを特徴とする請求項16記載のディスク記録媒体装置。

【請求項21】 カートリッジ筐体に形成されたディスク収納室内にディスク状記録媒体が回転自在に収納されると共に当該ディスク状記録媒体の一部を露出させるため上記カートリッジ筐体に設けた開口部がシャッタ部材によって開閉自在とされたディスク記録媒体装置と、

上記ディスク記録媒体装置の挿脱動作に応じて上記シャッタ部材を移動させて上記開口部を開閉させるシャッタ開閉手段と、

上記ディスク記録媒体装置が着脱可能に装着されると共に当該ディスク記録媒体装置の装着時、上記シャッタ開閉手段で開放された上記開口部から挿入されて上記ディスク状記録媒体をチャッキングして回転駆動するディスク記録再生装置と、を備えたディスク記録及び／又は再生装置において、

上記カートリッジ筐体は、上シェル及び下シェルを重ね合わせ又は上シェル、回転部材及び下シェルを重ね合わせることによって構成されると共に上シェル及び下シェル内又は上シェル及び回転部材内若しくは回転部材及び下シェル内に上記ディスク収納室が形成され、上記開口部を有する上記上シェル、上記回転部材又は上記下シェルと上記シャッタ部材とが重なり合う部分に、一方の部材に凸条又は凹溝を形成すると共に当該凸条又は凹溝に対応される凹溝又は凸条を他方の部材に形成することにより当該凸条と凹溝とで構成される防塵用隙間を設けた

ことを特徴とするディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 2 2】 上記シャッタ部材は、略半円形とされた2枚のシャッタ部材からなり、上記2枚のシャッタ部材が上記開口部を有する上記回転部材の一面側に当該開口部を挟んで対向するように配置され、それぞれのシャッタ部材において弦側の一側部で上記回転部材に回転自在に支持されると共に当該シャッタ部材に設けたガイド溝に上記下シェル又は上記上シェルに設けたガイドピンを摺動可能に係合して一対のシャッタ部材を開閉自在に構成した

ことを特徴とする請求項 2 1 記載のディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 2 3】 上記開口部を有する上記上シェル若しくは上記下シェル又は上記上シェル、上記回転部材若しくは上記下シェルには、当該開口部の周縁を囲うように上記凸条又は上記凹溝を形成すると共に、上記シャッタ部材には上記凸条又は上記凹溝に対応される凹溝又は凸条を形成し、上記開口部の周縁を上記防塵用隙間で囲うようにした

ことを特徴とする請求項 2 1 記載のディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 2 4】 上記開口部は、上記上シェル及び上記下シェルの少なくとも一方の中央部から外周縁まで延在され、上記中央部には上記ディスク収納室内に回転自在に収納されるディスク状記録媒体のセンタ穴が露出される

ことを特徴とする請求項 2 1 記載のディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 2 5】 上記開口部の外周縁は、当該開口部が設けられた上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面部まで延在され、上記開口部の外周縁が上記上シェル及び／又は上記下シェルの側面に開口される

ことを特徴とする請求項 2 1 記載のディスク記録及び／又は再生装置。

【請求項 2 6】 上記シャッタ開閉手段はラック部と当該ラック部の前後に配置された凸部とを有し、

上記回転部材は上記ラック部に噛合されるギア部と当該ギア部の前後に配置された凹部とを有し、

上記シャッタ開閉手段の進退運動に基づいて上記回転部材に回転運動を付与するようにした

ことを特徴とする請求項 2 1 記載のディスク記録及び／又は再生装置。